新連載

いのちのひろば（1）

毎月１回、中旬の水曜日に掲載

医療の専門家が協力して、地域の方々のいのちを守る

小田原医師会 会長 **渡邊 清治**

『一般社団法人　小田原医師会』は、小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の人口約25万人を抱える県西南部地域で医療活動をしている診療所や病院の責任者（院長・理事長）ならびに勤務医・研修医が会員となっており、現在320余名の医師が入会しています。当医師会では、個々の診療所・病院としての日常の診療以外に、住民の皆様の健康と福祉のために少しでも役立てるよう、自らの医療レベルの維持と社会の秩序から逸脱する事なく医業を提供するために様々な活動を行っています。

この度、小田原医師会による医療介護の特集ページを毎月1回連載させていただく事になりました。毎回、さまざまなテーマについて、この地域で日々診療にあたられている私たち医師会の先生方が、それぞれの得意分野の情報を提供してくれる予定です。健康や福祉介護で普段悩まれている事や、季節に応じた話題など住民の皆様の役に立つ紙面にしたいと思いますので、どうぞ楽しみにしてください。

まず、小田原医師会はいったいどのようなことをしている団体なのかをご紹介します。

おだわら総合医療福祉会館　おだわら看護専門学校

小田原医師会が事務局を置き、おだわら看護専門学校などが運営されている建物「おだわら医療福祉会館」（小田原市久野）

小田原医師会の本部は、3年前に市立病院の向かい側（おだわら医療福祉会館）に看護学校と共に移転いたしました。1階と4階の一部には、小田原市の高齢者・幼児向け事業が入っています。酒匂にある保健センターにも、複数の事業拠点があります。

①「休日夜間急患診療所」（1次救急）の運営と2次救急・3次救急の連携

体調不良に対し年365日対応する急患診療所の運営を、1市3町の援助のもと運営しています。出勤医のほとんどは志のある医師会員で日常業務とは別に自発的に出動してもらっています。薬剤師会による門前調剤があり受診者に不便を与えることはありません。日祭日には、歯科医師会による休日歯科診療も対応しています。症状の重症の度合いにより2次救急病院や3次救急病院へ紹介受診を行います。

②「地域医療連携室（地域包括ケアセンター）」の運営

医療介護連携のために不可欠な情報を収集整理して提供する機関として平成17年に小田原医師会が設立しました。広く住民の方々から医療機関に関する問い合わせや介護関連の問い合わせを受けている窓口です（ほとんどの方は市役所が行っている業務と思われているかもしれません）。医療に関する苦情もこの部署で受けており、ご意見を医療者にフィードバックしています。高齢化社会における医療介護の情報を整理する窓口（「地域包括ケアセンター」）として、役所の担当部署と協力して住みやすい町づくりを支える体制をとっています。

③「特定健診（・高齢者健診）・がん検診事業」、「（小児ならびに成人の）ワクチン接種」

毎年、市町村と検査内容等の見直しを相談しながら進めている事業です。働く世代の成人から高齢者まで住民の皆様の健康状態を把握し、個々へ健康情報のフィードバックを行うとともに、行政は健康統計に反映させ地域住民の健康状態を把握し、今後への課題を抽出するのに役立てています。昨年からは、県の主導で、受検者の一部に承諾を得た上で遺伝子解析をおこない、諸々の疾患の予防や治療へのアプローチに役立てる研究がはじめられています。

④「おだわら看護専門学校」の運営（看護師養成事業）

地域の医療介護体制を維持するのに必要な看護師さんは非常に不足しています。これから介護需要が増えるにつれ益々不足が切実になります。

地元で活躍してくれる看護師は地元で要請する事が必要と考え、昭和39年に当医師会として「小田原医師会准看護専門学院」を創設し准看護師の育成を始め、さらに平成6年に「小田原高等看護専門学校」を開校し（正）看護師の養成を行い、これまで准看護師1800名余、看護師2300名余を市立病院をはじめ私立病院など広く地域に送り出しました。

平成30年3月の「小田原看護専門学校」の閉校にあわせて「小田原高等看護専門学校」の定員を増員し「おだわら看護専門学校」にリニューアルしました。学校は、県市町からの補助金によって何とか運営を継続できています。

⑤「医師会によるストレスチェック事業」

ストレスチェックは、労働者に「ストレス状況について気付きを促し、個人のメンタルヘルス不調のリスクを低減させる」ことを目的に、平成27年に労働安全衛生法により実施が義務化されました。小田原医師会では、医師会として全国に先駆けてこの事業をスタートしました。

高ストレス労働者のみならず、その家族も相談が出来る「ここからサポートセンター」を開設し、当医師会の医師・看護師が対応しています。必要に応じて医師会内の精神科医への予約・受診も行うことができ、事業場にとっても産業医にとっても安心感があるシステムです。

⑥ 関連団体との協働活動

歯科医師会、薬剤師会さんとは別の団体ですが、連絡を取り合いながら地域の皆様の為の様々な活動を行っており、さらに最近では、介護職の方々など多職種により、認知症対応の取り組みとして「認知症をにんちしよう会」など市民公開事業も行っています。

⑦「小田原医師会合唱団」

小田原医師会による親睦事業の一つとして、医師会をはじめとして歯科医師会、薬剤師会の方々と合唱団を結成し公の場で演奏活動を行っています。クラシック・ゴスペル・演歌・歌謡曲などレパートリーはひろく国内外に及んでいます。今年も市民会館大ホールを舞台にして、創立10周年コンサートを行う予定です。

また、数年前にヒットした「恋するフォーチュンクッキー」の小田原医師会バージョンは、今でもＹｏｕｔｕｂｅで見る事ができるようですよ。

話題を集めたＹｏｕｔｕｂｅの動画

小田原医師会は、年齢を問わずひろく社会生活全般に関連する医療・介護に関わるニーズに対応できる地域体制づくりに取り組んでいます。現在、国が主導となり「地域医療構想」という概念をうちたて、将来この県西地域にどのくらいの入院ベッドが必要であり、どのように調整すべきかを試算し、それに向かって医療機関を整理しようとしており、足柄上郡1市3町を含めた2市8町が協働して医療介護に取り組む体制が求められています。市町によってスタンスの違いがありますが住民のニーズに沿ったサービスに近づけられるよう話し合いがすすめられています。

少子高齢化は一段と顕著になり、県西部においてはご高齢の方々のみの世帯が増えています。年齢とともに体調不良を覚える箇所がおおくなるのは否めませんが、健康寿命の延伸を謳い、なるべく病気で寝込んでしまわず長く自分の力で日常生活を送れるよう様々な健康維持のための取り組みを、私たち医師会をはじめ歯科医師会・薬剤師会・地域包括・介護事業・自治会と行政が協力し合って考えています。ご高齢の方々が家に閉じこもらず、地域のコミュニティに楽しく参加していただき、子供たちが健康でのびのび成長でき、働く世代が充実した生活をおくる事ができる健康的な町づくりに手助けができるよう活動します。

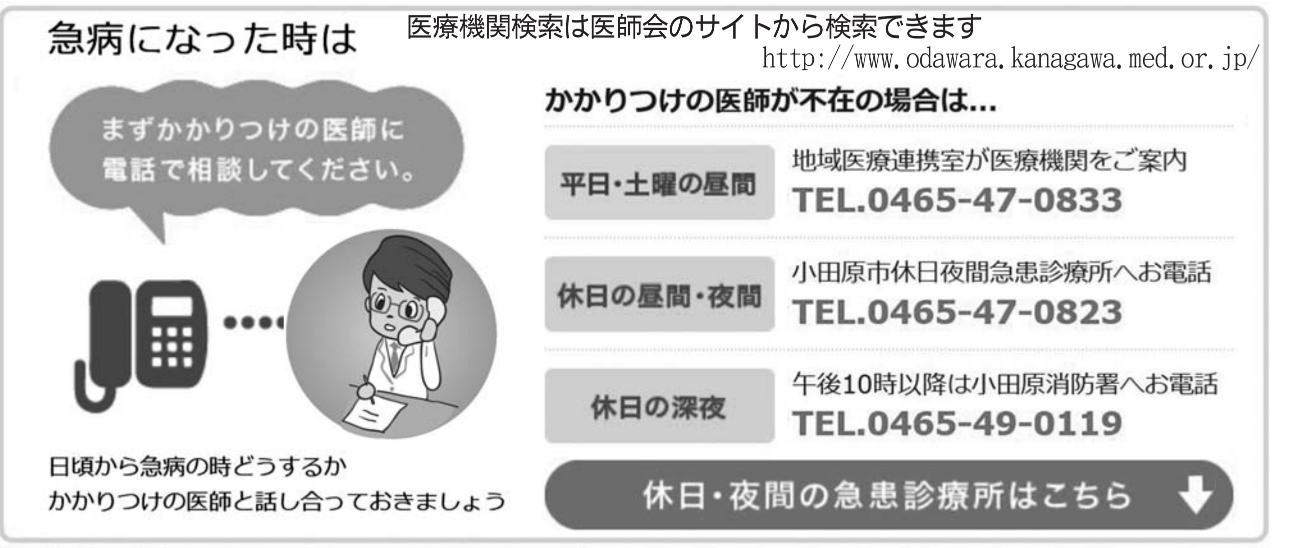
（わたなべ・きよはる　1958（昭和33）年6月21日生まれ。県立小田原高校、北里大学医学部卒業。同大学医学部助手、講師、平塚共済病院消化器内科を経て小田原市内に医療法人社団渡邊内科クリニックを開業。2002年小田原医師会理事、11年同副会長、17年同会長に就任。専門分野は肝胆道疾患、消化器疾患、組織細胞病理診断、アンチエイジング医学）

次回は5月中旬に掲載

世界禁煙デー（5月31日）にちなみ、喫煙と健康について考えます。

今月のひとこと

年度始めは職場や学校での身体計測や定期健康診断の多い時期。すすんで受けて、健康チェックをお忘れなく！



急病になった時は

医療機関検索は医師会のサイトから検索できます
http://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/

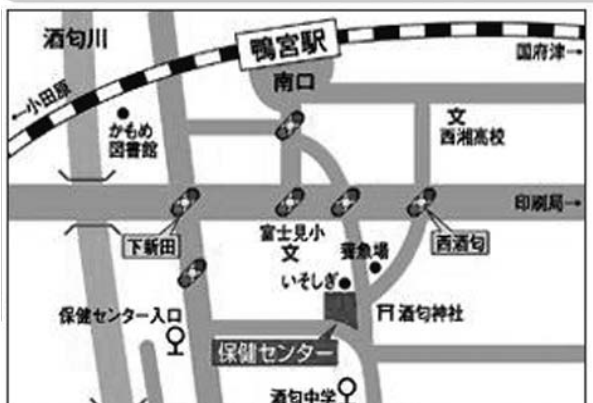
まずかかりつけの医師に電話で相談してください。

日頃から急病の時どうするか
かかりつけの医師と話し合っておきましょう

かかりつけの医師が不在の場合は…

平日・土曜の昼間	地域医療連携室が医療機関をご案内 TEL.0465-47-0833
休日の昼間・夜間	小田原市休日夜間急患診療所へお電話 TEL.0465-47-0823
休日の深夜	午後10時以降は小田原消防署へお電話 TEL.0465-49-0119

休日・夜間の急患診療所はこちら ⬇



小田原市保健センター 内
小田原市酒匂2-32-16 / TEL 0465-47-0823

夜間
土・日・祝日 ＝ 受付時間：18:00～22:00
診療科目：内科・小児科
平　　日 ＝ 受付時間：19:00～22:00
診療科目：内科・小児科

休日
日曜日・祝日 ＝ 受付時間：8:30～11:30, 13:00～15:30
診療科目：内科・小児科・耳鼻咽喉科
（眼科の休日診療日は５月３・６・20日）

—美味しさいろいろ—　味の散歩道

中華四川
特製タンタン麺
国府津松田線
電話　42五四五一

大小宴会場ございます
御祝事・御法事・御会合
立食パーティー等、
御利用下さい。
寿司・各種和食
仕出し致します。
小田原市西酒匂　１－３－５０
営業時間　AM11：00～PM9：00
電話　（48）4315
http://www.sushimasa.co.jp/
さかわ川畔
すし政
Sushimasa

寿司・和食処
小田原名物
あじの生ずし・あじたたき
天ぷら・うなぎ・焼魚定食
煮魚定食
営業時間　午前十一時～午後九時
ランチタイム
十一時～二時三十分（平日）
定休日（第一、三木曜日）
うおがし
小田原駅前
小田原市栄町二－八－三九
☎〇四六五－二三－一一七〇

でんわおだわら（22）0267・0268

身近なニュースをお届けする日刊紙『神静民報』ご購読のお申し込みは下記の販売店へ　●定価1ヵ月2,000円　●1部売り90円　小田原市立病院売店、大雄山線小田原駅・大雄山駅改札、ジャンボーナックビル（カフェ・リーフ）で1部売り好評発売中！

小田原地区
■読売新聞 読売センター　小田原報徳　☎0465(36)3683
小田原西部店　☎0465(35)0746
小田原中央店　☎0465(24)5050
酒匂店　☎0465(48)0007
■毎日新聞小田原中央販売所　☎0465(87)5313
■ASA小田原（有）曽和新聞店　☎0465(23)3300
■（有）水口新聞店　☎0465(34)7538
■米山新聞店　☎0465(36)6220
■ASA鴨宮（有）飯山新聞店　☎0465(47)5422
■読売新聞鴨宮専売所　☎0465(47)3644
■ASA国府津　☎0465(47)2568
■読売新聞（有）佐藤新聞店　☎0465(47)3351
■ASA小田原富水　☎0120(36)3775
■ASA栢山　☎0465(37)1767
■ASA小田原東部　☎0465(24)3012
■今井新聞店　☎0465(42)0340
■産経新聞小田原中央専売所　☎0465(25)2480

足柄下地区
■（有）湯本新聞販売所　☎0460(85)5264
■（有）高橋新聞店　☎0465(68)0333
■読売センター湯河原　☎0465(62)7889
■ＡＳＡ湯河原　☎0465(62)6834

南足柄・足柄上地区
■読売新聞　読売センター小田原城北店　☎0465(74)9061
■（株）内藤新聞店　開成店　☎0465(83)3500
南足柄店　☎0465(72)0234
■（有）高田新聞店　☎0465(74)0281
■小松新聞店　☎0465(82)0574
■杉山新聞店　☎0465(75)0356

秦野地区
■読売新聞秦野専売所　☎0463(82)0290
■（有）北湘読売開発　☎0463(82)7335
■渋沢東部新聞販売店　☎0463(87)3680
■ASA渋沢　☎0463(88)0589
■栗原新聞店　☎0463(88)0058

二宮・大磯地区
■毎日二宮専売所　☎0465(43)5963
■毎日国府本郷専売所　☎0463(72)3272
■毎日国府津二宮専売所　☎0465(43)5963
■ASA二宮　☎0463(71)1157